

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 055	提案機関名 公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会
要望問題名 藻場の磯焼けとその回復	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県沿岸の磯根域は、アイゴ等による食害によって水産生物にとって重要な海中林とアマモ場が消失し、磯焼けが起こっていて砂漠化している。その実態と回復方法の実証試験を要望する。 (1) 神奈川県沿岸の磯焼けの状態を衛星画像や潜水によって現状の把握をして、分布を示してもらいたい。 (2) 磯焼けした海域の一部で、藻場回復の実証実験をおこなう。 (3) アマモ場回復の実証試験を行う。 (4) 二酸化炭素の吸収について、ブルーカーボンとして海藻分布域の評価 (5) アワビ・サザエ等の種苗放流場所としての環境収容力(量)の推定	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所、国立研究開発法人海洋研究開発機構との共同研究	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部・相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験		
対応の内容等 藻場の再生と磯根資源の回復を目的とした試験を令和2年度から実施中です。 (1) 磯焼けの分布は、漁業者からの聞き取りと潜水調査等により把握します。 (2) 藻場回復について、カジメとアカモクを対象とした増殖技術の開発と、海域における実証試験を行います。 (3) アマモ場について漁業協同組合の行う再生の取組みがあれば助言を行います。 (4) 二酸化炭素の吸収について、農林水産技術会議が実施中のブルーカーボンに関する研究に当所も参画しており、その成果をフィードバックします。 (5) アワビ、サザエ等の種苗放流適地に関する試験について令和4年度から実施予定です。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			